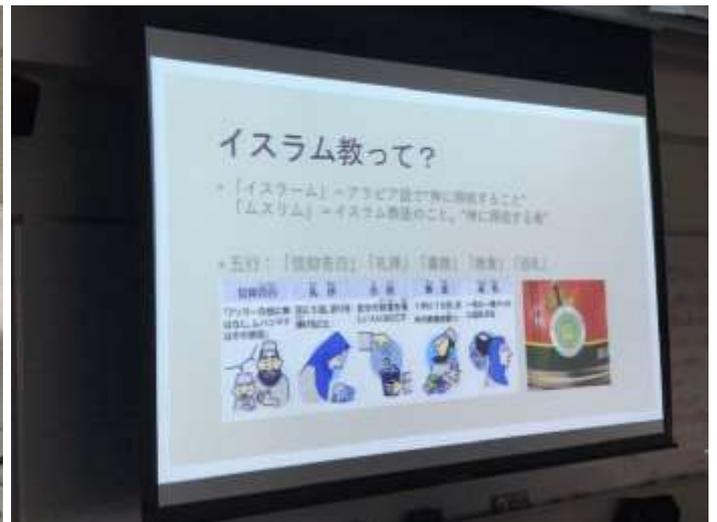


9月中旬、3学年の課題研究「ソーシャルビジネス」では、開発途上国の現場で国際協力に携わった JICA の関係者を講師として講演会を開催しました。講師は、青年海外協力隊として、職種（水球）・派遣国（インドネシア）で活動した方でした。生徒はあまり馴染みのない水球という競技に興味津々で、インドネシアの競技人口や環境を知ることができました。また、インドネシアのナショナルチームを教えていたということで、スポーツの視点からインドネシアの社会や文化について理解することができました。特に、女子チームも教えていたことから、女子生徒には身近に感じることもできたようで、現地で生活しなければ体験することができないインドネシアあるある？などを楽しみながら学ぶことができました。



【生徒の感想】

・何か行動を起こせば変わるということ。何事も挑戦が大事。インドネシアのことが良く分かった。宗教と国民のつながりも分かった。自分がしゃべっているだけではダメということ。相手のことを知るのが大事。将来、機会があれば JICA に挑戦してみたいと思った。(男子生徒)

・日本のことばかりを考えるのではなく、他国のことについても深く考えるべきだと感じました。考えるうえで、信頼を大切に生きてみたいです。私はまだ海外について詳しくは学べていませんし、その地に行って生活をしたことはありません。それから、世界中の人はそれぞれ文化も言語も違います。ですが、様々な国の人とかわりを持ってみたい、他国の文化をその地の人と一緒に学びたいそう思いました。「ありがとう」を忘れずに考えて、将来の夢を決めていけたらいいなと思いました。(女子生徒)